



動作環境

機種	FZ-G2/FZ-G1	FZ-N1
商品		
対象OS	Windows10以降	Android 8.1以降
画面サイズ	10.1インチ	4.7インチ
データ交換	SIMA (座標) /CSV/IFC/DWG/DXF/LandXML/Shape/ Trimble BIM(.trb)/RXL/12d Model/dtm/ttm/	
接続対象機種	Trimble S シリーズ /Trimble SX シリーズ /Trimble R10/R12/R12i/R4s Spectra Geospatial Focus50/SP80/SP85	

Trimble Connect ・ Trimble Business Center 連携

Trimble Access で観測したデータを現場から Trimble Connect にアップロードすることで、クラウド経由でデータ交換が可能となります。現場⇄オフィスでのデータ交換も後処理ソフトウェア Trimble Business Center (TBC) ヘデータを即座に読み込み、効率的にデータ編集が行えます。また、現場で座標漏れがあった場合、TBC から座標データを Connect に登録。Trimble Access でダウンロードすることで時間ロスの削減につながります。



お問い合わせ

2CJ-H7MT-1(2310-8)YY

株式会社 ニコン・トリムブル

<https://www.nikon-trimble.co.jp/>

ジオスペーシャル事業部
〒144-0035 東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート大樹生命ビル

※掲載されている各値は、環境により変動します。
 ※Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。
 ※Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 ※Google、Google Playおよびその他のマークはGoogle LLCの商標です。
 ※その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。
 ※ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術（ソフトウェアを含む）は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等（技術を含む）に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。

デジタルワークフローのためのフィールドソフトウェア

Trimble Access



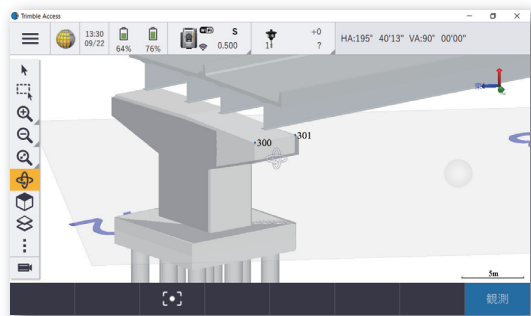


Trimble Access

Trimble Access は、測量・建設向けに開発されたフィールドアプリケーションです。TS・サーボ TS・スキャニング TS から GNSS まで Trimble が提供する様々なセンサーと接続することが可能です。また、使用するセンサーに関係なく統一されたインターフェースにより、共通の操作性をご提供します。建設 DX に向けて 3 次元データを現場で活用することで、現場の効率化・省力化に貢献します。

建設DXにむけて

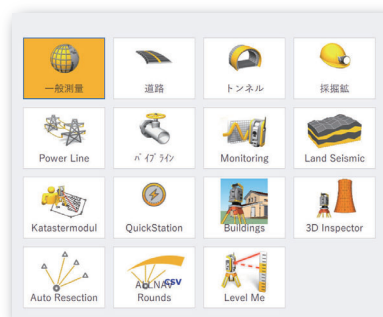
BIM/CIM の標準化に向けて三次元データの活用は一般化してきました。Trimble Access では、設計データからの測設作業や設計データとスキャンデータとの比較検証も可能です。



3Dモデル (IFCファイル)から測設ポイントを指示することも可能

あらゆる業務に対応

Trimble Access は一般測量だけでなく、道路やトンネル・モニタリング等、様々なアプリケーションをご用意。モジュールを追加することであらゆる業務にマッチした計測が行えます。今後、日本向けの仕様合わせた改良を行うことで公共的な作業にも利用できる可能性を秘めたアプリケーションとなっております。



様々なアプリケーションに対応
※画面には日本市場で販売していない商品も含まれます

3Dマップベースでリアル観測

トータルステーションや GNSS を接続して観測したデータ (座標) は即座にマップへ展開され結線を結んだり、コードを指示して観測すれば属性情報に合わせた簡易的な現況観測が行えます。2D 表示 / 3D 表示の切り替えが簡単に行えますので、いつでも 3D 図面で観測状況の確認ができ、3D モデルや地図を表示することで、よりリアルな観測結果を表示します。

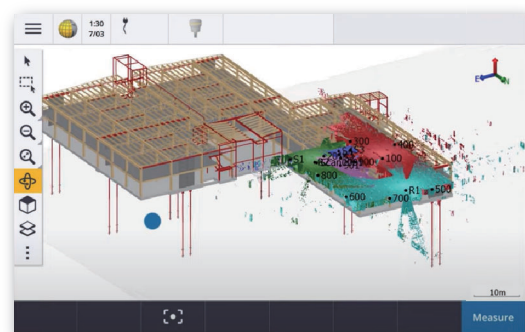


Trimble S7 VISION

3Dマップ表示

Trimble Access の表示領域に観測した座標のプロットマークやライン、Trimble 提供の背景地図や画像、3D モデルなど、すべて重ね合わせて表示ができます。現場では観測結果をすぐに確認できますので、ミスを見つけて手戻りのない高精度な図面を作成できます。

※サポートされているファイル
DWGファイル、IFCファイル、TRBファイル
DXFファイル、シェイプファイル、LandXMLファイル
などが代表的なファイルです。



3Dモデル (IFCファイル)と観測座標を重ねて表示したマップ



Trimble R12i

Trimble STS/GNSS連携 (各種測設)

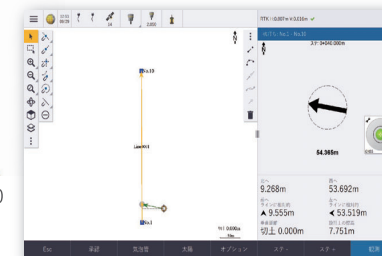
Trimble STS/GNSS を接続して、測設作業を行います。Trimble Access を使用した測設は、座標だけではなく、CAD に描かれたラインや 3D モデルによる測設も可能です。2D 表示はもちろんのこと、3D 表示で測設箇所を確認しながら効率よく作業が行えます。



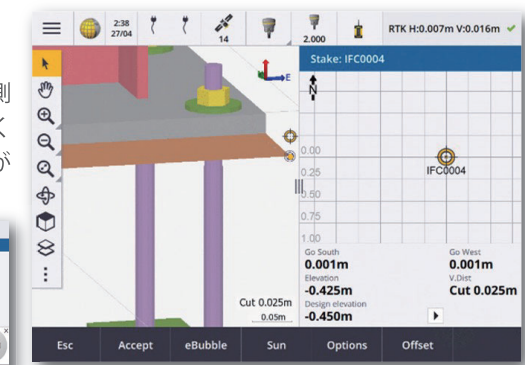
Spectra Geospatial Focus50

3Dデータ測設

面のデータや IFC データを活用した測設作業が行えます。座標点を作らなくても、データを指定するだけで測設ができるのも魅力です。



ライン上、オフセット、ステーションピッチ等、様々なラインを使用した測設



IFCデータを使用した測設



Spectra SP85



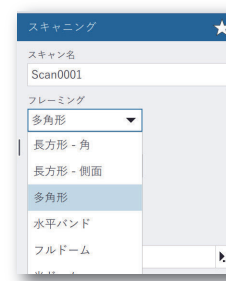
Trimble SX12

Trimble SX連携

Trimble SX シリーズ (以下、SX) と大画面タブレットを使用して Trimble Access と連携することで、TS 観測、測設等、通常の計測業務が行えます。スキャン計測、スキャンデータ間での進捗検査、スキャンデータと設計データとの比較検査 (Inspection) 等も可能です。

スキャン (Scanning)

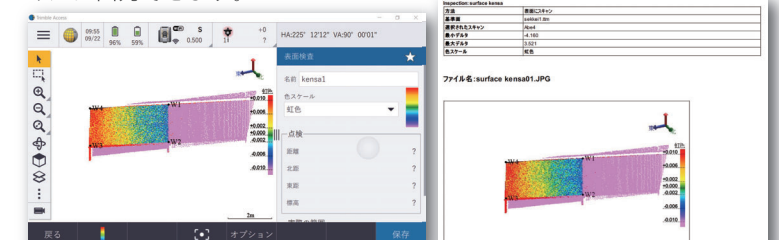
SX と Access を組み合わせて様々なスキャン計測を実現しました。対象エリアを多角形、矩形、バンド、フルドーム等、細かく設定し、計測したデータを即座にマップ表示・確認可能です。現地での取り漏れの防止につながります。



エリアスキャン

比較検査 (Inspection)

SX で計測したスキャンデータと 3D モデルの乖離が、現場で即座に確認可能です。比較後、画像化されたデータはヒートマップとして PDF ファイルに出力できます。



検査結果をヒートマップ表示

検査結果をレポート表示